

vol. 1

副業や主婦起業で
やりたいことをやって
稼ぐ方法

やさしいブログの作り方
松田健宏さん 編

【まえがき】

松田さんにインタビューをさせていただいたのは、2014年7月です。

わたし自身、一度やっっていることを整理したくて、6月〜9月まで休業していたのですが、ひょんなことから実現したインタビューはその休業期間中でした。

そして、10月からお仕事を再開するにあたり、今までやってきたこと（アメブロのカスタマイズやWEB制作）を手放しました。手放すと新しいことが入ってくるのは自然な流れで、松田さんへのインタビューをキツカケに「辻ちゃんねる」をスタートすることにしました。

松田さんのインタビュー中は、この収録音声をどうするか？ は全く決まっていませんでした。松田さんには、「無料配布しても、販売してもOK。辻さんのご自由にどうぞ」と言っていたいただきました。それを受けて、わたしが一番考えたのは、「実際、3時間もの音声を自分が無料配布してもらって真剣に聴くだろうか？」ということ。内容的には、有料セミナーでも全く問題ないレベルですから、真剣に受け取ってくださる方に届けたい！ そう思いました。

それからは、じゃあ、この音声をどうやって売るか？ どうやったら聴いてもらえるだろうか？ ということを考え始めます。そこでふと、解説も含めて全部音声だったらどうだろう？ 3時間が

細切れになっていたら聴きやすいんじゃないか？ と思いつきました。

経験したことのない音声編集を開始し、自分のコメントを吹き込み、再編集し、オープニングもつけて完成したのが、記念すべき第1回目の松田さん編なのです。

松田さん編は、「本業と副業」をテーマに、これまで松田さんがブログなどで語っていらっしやらない部分を掘り下げてお聴きしています。

どうして松田さんにはファンが多いのか？

集客できている人は、どんなことを考えているのか？

手帳も使わずに、時間の使い方をコントロールしている方法は？

本業の会社から帰宅し、夕飯をつくって、お子さんをお風呂に入れて寝かしつける。土日は基本的に副業はしない。それを知ると、じゃあ、いつ副業の時間をとっているの？ と誰でも疑問に思はずです。その疑問は、本書をお読みいただければ、すべて解決するでしょう。

そして、各章の終わりにあるワークをご活用いただき、あなたも「松田さん式起業」を自分のものにしていただけましたら幸いです。

※本書は、音声配信としての辻ちゃんねるの臨場感を文字でも味わっていただくため、あえて随所に「お聴きください」「や」「お話をさせていただきます」などの表現を残しております。

また、音声をもとに適時編集を加えておりますため、表現が多少異なるところがあります。音声と書籍を同時に活用されることで、より五感を活用して学んでいただくことができます。

【ゲスト 松田健宏さん 紹介】

アメブロ（アミーバブログ※）で集客するアメブロガーなら、知らない人はいないと言っても過言ではない「やさしいブログの作り方」というブログ。それを運営されているのがパワーブロガー「松田健宏さん」です。

初心者やパソコンが不得手な方にはハードルが高いと思われがちな、ブログ関連で「やさしいブログ」の作り方、すなわち

- 見やすい
- 読みやすい
- わかりやすい
- 親しみやすい
- 伝わりやすい

をテーマに掲げ、そのような記事の書き方や、ブログの設定方法を公開され、その「やさしい」人柄とともに「やさしいブログの松田さん」として、読者の支持を集めていらっしゃいます。

また、ブログの個別サポートだけではなく、数多くのセミナーを主催し、その中でも特に人気のもはDVD、オンデマンドなどでも提供されています。さらに2014年6月には自身初の電子書籍を出版され、ブログの読者さんは、2015年9月に1万人を突破し、ますますファンは増え続けています。

そんな松田さんの本業は「サラリーマン」。これらブログ関連の活動は、すべて「副業」としておこなっていらっしゃいます。

(2015年現在の位置づけでは、やさしいブログの作り方のほうが副業となります。)

※アミーバブログ

2015年現在、自らサーバーを用意する必要がないウェブサービス型のブログは、その手軽さから「個人が気軽に情報を発信できるツール」として定着している。その中で「アミーバブログ(通称アミープロ)」とは、サイバーエージェント社が提供している、基本無料のブログサービスを指す。アミープロはブログデザインなどの、カスタマイズが容易であること、ユーザー間のつながりを重視した仕組みなどが特徴となり、利用者も多い。

【松田さんから読者のみなさまへ】

昨今、SNSの普及などにより、個人起業される方が増えてきています。私は、せっかく始めた起業であるなら、お金を稼ぐためだけではなく、「幸せになるための起業」を目指して欲しいと思っています。

起業して月商100万円を越えたいと思う人もいますし、パートに出た時にもらえる10万円を越えれば御の字の人もいます。起業⇨儲けることがすべてではないですし、稼いだ額によって成功が測られるものでもありません。

私は、起業には「自分や自分の家族が幸せになるために」という視点も必要だと考えています。

好きなことでお金を稼げると聞くと、とても恵まれているように聞こえます。ですが、趣味を仕事にすると、好きではないこともやらなければならなくなります。であれば無理に趣味で起業せずとも、趣味は趣味で楽しめるようにして、お金はまた別の方法で稼いでもいいわけです。

幸せの基準や価値観は人によって違います。

あなたが幸せだと感じる生活になることがベストです。

私は今でも会社勤めをしながらブログの仕事をしています。ブログの仕事を本業にしないのですか？ とたびたび聞かれますが、私はこのスタイルを変えるつもりはありません。今の形でも十分幸せですし、幸いにも金銭的に不自由と感じることはありません。私にとっては「副業起業」という選択が今ベストな選択だと思っています。

今回辻さんとお話しているのは私だからこそ言えることがほとんどです。人によっては当てはまらないこともあるでしょう。なので、私ならどうだろうか？ という視点を持ちながら読んでいただければ、きっとたくさんの気づきが生まれると思います。

「自分や自分の家族が幸せになるために」

その視点を忘れずに起業の道を歩んで欲しい、そう願います。

松田 健宏

辻ちゃんねる vol.1

やさしいブログの作り方 松田 健宏さん 目次

まえがき.....	00
ゲスト 松田健宏さん ご紹介.....	00
松田さんから読者のみなさまへ.....	00
「辻ちゃんねる本」を120%活用いたたく方法.....	00

第1章 副業と本業の両立について

・ インタビューするに至ったキッカケ.....	00
・ 本業がありながら副業をしようと思った一番の理由.....	00
・ 副業をしようと思って始めたブログではない.....	00
・ 中でもレスが早いのはなぜ!?.....	00
・ 本業と副業の両立をどうしているか?.....	00
・ 家族の反対はなかった?.....	00
・ 毎日のタイムスケジュールは?.....	00

第2章 ブログ、メルマガのネタのストックはどうしているか？

- ・ ブログ、メルマガのネタのストックはどうしているか？……………00
- ・ ネタを見つけるのではなく○○する……………00
- ・ ひとつのものを複数の視点から見ることができるとはなぜ？……………00
- ・ 発信している内容の意図に気づく人と気づかない人の違い……………00
- ・ 松田さんが常にチェックしているブログの数……………00
- ・ スケジュール帳はもっていない……………00
- ・ 基本的に○○したときにやる……………00

第3章 セミナー開催の準備スケジュール

- ・ セミナー開催の準備スケジュール……………00
- ・ イベントを開催するときに注意している点……………00
- ・ 時間短縮や効率化の視点……………00
- ・ 松田さんが技を編み出すときに意識していること……………00
- ・ 過去記事をリライトして再アップするタイミング……………00

第4章 メニューバーを無料で作成し始めた本当のワケ

- ・ メニューバーを無料で作成し始めた本当のワケ……………00
- ・ 無料でやったから得られていること……………00
- ・ 松田さんの商品サービス構成……………00
- ・ ファンづくりと集客に対する考え方……………00
- ・ コンテンツは○○を思いつけるかどうか……………00
- ・ ニーズをつくっていく……………00

第5章 誰でもできることだったりやらない方がいい

- ・ 誰でもできることだったりやらない方がいい……………00
- ・ 何を持って失敗とするか？……………00
- ・ 商品やサービスの魅せ方……………00
- ・ ○○だからこそ好きなことができる……………00

- ・松田さんはカウンセラー？……………000
- ・稼ぐために今の仕事をやってるわけではない……………000
- ・始めた当初の売上と今の売上大公開!!……………000
- ・今まで稼いだお金はどうしてる？……………000
- ・今後の夢や目標は？……………000
- ・今のライフスタイルだから、できること……………000

第6章 副業とリスクとの兼ね合い

- ・副業とリスクとの兼ね合い……………000
- ・今のライフスタイルについて……………000
- ・松田さんにとって成功とはなんですか？……………000
- ・松田さんが毎回イベントやセミナーを開催するときに工夫していること……………000
- ・1つの行動で複数のことを得る……………000
- ・ブログとメルマガの使い分け……………000
- ・売り込まない、売込み……………000
- ・告知記事を書くときに意識していること……………000

- ・セミナーに対して人が興味を持つポイントは○○と○○……………000
- ・自分の想いに則ったものやっっていく……………000

第7章 副業をオープンにできるようになったワケ

- ・副業をオープンにできるようになったワケ……………000
- ・副業をするうえで何が大事かの優先順位を決める……………000
- ・アメプロの世界は狭いけど○○な世界……………000
- ・誰が伝えるかで価値が変わる……………000
- ・野心はないけど自分のいた証は残したい……………000
- ・できないことはできないと言うけど、常に新しいことに挑戦したい……………000

第8章 じっつは松田さんにインタビューしたいと思っていた

- ・じっつは松田さんにインタビューしたいと思っていた……………000
- ・松田さんは種明かしたい派……………000

・真似されても、絶対同じ結果にはならない……………000
・インタビューオファーは冗談だった!?……………000

あとがき……………000



ちゃんねる

「辻ちゃんねる本」を120%ご活用いただく方法

◎本書は、ゲストのお話の中でも特にポイントになる点を、章立ての形式でまとめています。ぜひ、お手元にノートを用意いただき、読み進めながら気づいたことをノートに書き留めていってください。それは、あなただけの本書の参考書になるでしょう。

◎各章は、ゲストと辻のトークである本文以外にも、以下のような内容を盛り込んでいます。


□ 本章の内容

その章に書いてある内容を簡単にまとめたものです。

各見出しの内容について、確認後印をつけられるよう、チェックボックスの形になっています。自由に使いください。

☑ 本章のポイント

その章を読む際に、注目していただきたいことや考えていただきたいことをポイントとして取り上げています。

 **本章をもっと活用するためのヒント**
ゲストのお話のポイントや、関連事項を辻がまとめたものです。

 **本章をもっと活用するためのワーク**

その章に書いてある内容に関連したワークをご用意しました。各章での学びを自身の中に落とし込むため、ぜひ、ご自身の回答をノートに書きながら取り組んでみてください。

● **注釈**

本文に関連した内容の注釈です。リンク先がある場合は、あわせてお読みいただくことで、さらに理解が深まります。

リンクについては、二次元バーコードを携帯などで読み取れるようにしています。パソコンの場合は、キーワードを打ち込んで検索するか、直接URLを打ち込んで活用ください。

◎各章は、音声の場合20分〜30分程度です。辻ちゃんねるの音声配信期間中は、毎日「20分〜30分ずつの音声」が配信されますので、聴くことを習慣化することができます。

本も同様に、一度読んで終わりではなく、あなたのバイブルとして、繰り返し読むことを習慣化していただければ、その都度たくさん学びを得ることができます。

そして、本書で得た学びをぜひ行動につなげてください。

第1章 副業と本業の両立について

【本章の内容】

- インタビューするに至ったキッカケ
- 本業がありながら副業をしようと思った一番の理由
- 副業をしようと思って始めたブログではない
- 日中でもレスが早いのはなぜ？
- 本業と副業の両立をどうしているか？
- 家族の反対はなかった？
- 毎日のタイムスケジュールは？

本章のポイント

松田さんの時間の使い方にご注意してお読みください。

本章でご紹介している松田さんの電子書籍はぜひ読んでみてください。

<http://mail.crossmom.net/mbook>



□ インタビューするに至ったキツカケ

辻 今から「やさしいブログの作り方」の、松田さんのインタビューを始めさせていただきますと思います。

題して、「稔子の部屋」Vol. 1。

松田 Vol. 1ということは、Vol. 2もあるの？

辻 いやあ、ちょっとわからないですけど(笑)。

松田&辻 (笑)。 よろしくお願ひします。

辻 松田さんのブログは、もうずっと読ませていただいているんですね。今回のインタビューのきっかけとしては、先日出版された電子書籍を読ませていただいて、松田さんに感想を送らせていただきました。

松田 はい、いただきました。

辻 書籍を読むうちに「これも聞きたい」「あれも聞きたい」と、ますます聞きたくなるようなことが、いっぱいあったので「もっと、たくさん聞きたいことがあります」と、感想に書いて送ったら、そこは、さすが「やさしい」ブログの松田さん。
「聞いていいよ」というふうに(笑)、きっかけを頂いたので。今回、インタビューをさせていただけます。

松田 ありがとうございます。なんか、そんなきっかけを頂きました。

辻 いえいえ、とんでもないです。

松田&辻 (笑)。

□ 本業がありながら副業をしようと思った一番の理由

辻 わたし、松田さんが(ブログ以外に)「本業」をされているというのを、最近、電子書籍を出版される前ぐらいにブログとかFace bookで知って、「あつ、そうだったんだ!」と

思ったんですね。

松田 はい。

辻 てつきりブログの方が、本業だと思っていたんです。

なので、本業がありながら、副業をしようと思った主な理由というか、一番の理由をお伺いできたらなああと。

松田 普通に会社勤めをしながら、もともとは趣味のブログを書いてたんですね。それはほんとに趣味のブログで、自分の好きなことを書いていたんだけど。

辻 はい。

松田 で、自分のブログをカスタマイズ（見た目などを整える）などをやっていく中で、「カスタマイズをする」ということを、仕事にしておられる方がいるということを知って。それなら、そういうことを発信するブログを書くのも、面白いんじゃないかな〜？ というところで始めたのが、いまのブログ（やさしいブログの作り方）なんですね。

辻 はい。

□副業をしようと思って始めたブログではない

松田 そのときは、何かを売ってという「商品」を持っていたわけではなく、単純にその（カスタマイズの）やり方とかを、紹介していくというようなスタンスで始めたので、自分の中では「副業」をやるために、という位置づけではなかったんですね。

辻 うんうん。

松田 自分の好きなことを綴るといふか、自分の書きたいことを書くということだけでやっていました。

一般的にブログのコンサルタントとか、カスタマイズを受ける業者さんとかは、「本業をするために、自分もブログをやる」という方が多いと思うんです。逆に僕の場合は、「何かをするために、やり始めた」というわけではないので、実際にブログをやっている中で、カスタマイズの方法などの質問や問い合わせが来て。「こんなんやってないんですか？」とか「こういうのきませんか？」ということを受けていくうちに、だんだん「お金をいただける」サービスを提

供するに至ったのが、まあ流れなんですね。

だから、自分の中で「副業を始めるために」始めたわけではなくて、自然な流れの中でそういう形になっていった、というのが僕のパターンですね。

辻　じゃあ、もともとは副業として「なにか売ろう」と思って、始めたわけではないんですね？

松田　そうそう。

辻　それが徐々に徐々にお金を頂くようになって、副業という形になっていく一方で、本業というのは副業がOKな会社だったんですか？

松田　えー、まあその辺は、グレーゾーンでもありまして（笑）。

松田&辻　（笑）。

松田　会社の就業規則などもあるので、それをこっそり見たらですね。一応そういう文言らしきものは、「ダメですよ」という表記はしていませんでしたが、会社承認が要りますよ」というような記述があったのは見た……覚えがあります。あはは（笑）。深くは追及していない

ですけど、なんかそんなことが書いてあったような気がします。

辻　なるほど。ブログに、ご自身の顔を出されているじゃないですか。副業のブログに顔写真を出すことで、例えば「会社にばれたら」とかの兼ね合いと言いますか。そういう部分は、どう考えているのかなど。

松田　うーん。確かにそれはリスクとしては、当然あるとは思いますが、うんですけどね。

まず、自分がブログをやっていく上で、プロフィール写真とかは実写の写真を使っていますけど、ヘッダーとかは、全部イラスト（似顔絵）で、写真を今まで使ったことはないんですよ。もちろん実写のプロフィール写真も、サイドバーにあるけれどもサイズも小さいし、それよりもブログを開いて最初にある、ヘッダーの印象の方が絶対大きいので。

そもそも、最初は自分（の写真）がどーんと前に出るのが、何となく気が引けて、代わりにイラストを使っていたというのもあるんですね。逆にそれをやったことよって、ブログに柔らかい雰囲気が出るというのもあるし。あとは、（ブログの）ニックネームとかも僕はフルネームを出していないんですよ、苗字だけなので。

辻　うんうん。

松田 フルネームとかで入れたりとすると、例えば名前とかでね、たまたま人の名前を検索して遊ぶことも、あるじゃないですか（笑）。どんなのが出てくるのかな？ とか、同名同名の人がどれだけのの？ とかね。そういうときに（検索結果に）かかったら、「え？」となる可能性もあるの……まあ、ニックネームを苗字だけにするというのも、一応の小さな抵抗ではあります。

あとは、これは幸いにして、という部分が大きいんですけど、僕が提供しているサービスというものは、基本「アメプロをやっている人が、100%」なんです。一般の、普通のお客さんということではないんです。もちろん会社なんかで、アメプロをやって集客したい！という社員が、もしいたとしたら、出くわす可能性もありますけれども。基本そういうことを調べるに至らない業種ではあるかなと思うので、この辺が自分にとっては、普通に顔写真を出したりとか、苗字を出したりとか、できたのかなという部分がありますね。

辻 なるほど！ そうすると、今も本業のお仕事をされているということですよ？

松田 はい。

辻 （途中で）会社が変わられたりは、していますか？

松田 最初に学校を卒業して勤めた会社があって、今の会社に移ったんですね。ブログを始めたのは今の会社に移ってからなので。

辻 じゃあ、ブログを始めてからは変わっていないんですか？

松田 そうです。

辻 では、今の会社がグレーゾーンのところなんですか？

松田 そうですね、前の会社はもうダメでした。まあ、時間的にもできなかったと思います。今の会社の方が比較的、業種柄カレンダー通りの平日出勤で、土日お休みなので、それで自分の時間の都合が付きやすいというのは、ありますね。

辻 なるほどー！

松田 昼休みとかを使って外に出たりとか、あと多少の時間であれば、何か用事のついでに、自分の仕事の調整は、ちよつと付けやすいかなとは思いますが。

□日中でもレスが早いのはなぜ!?

辻 ちなみに、副業のメールの返信が、平日でも結構速いと感じているんですね。逆にいつ、本業のお仕事をされているんですか？ と聞こうと思ったんですけど（笑）。

松田 いや、普通にしていますけど（笑）。

僕は事務の仕事をしているんですけど、事務所で自分のパソコンが、ちょっとこう、画面が壁に向いてるんですね。レイアウト的に（笑）。

辻 はい（笑）。

松田 なので、パソコンで仕事をしているような雰囲気の中で、副業のメールを返したりとかは、できるんです。

辻 あー、なるほど（笑）。

松田 仕事の合間の時間にちよつとメールチェックをしたりとか、あとは、お昼休みとかに外

に出たときに携帯でメールを見たりとかね。そういうときに、返事ができるものは返事をする、という形でやっていますね。

辻 じゃあ、平日にセミナーをされるときは有休を使つて？

松田 はい、そうですね。

辻 なるほど……思ったよりも、スゴイ働いていましたね。

松田 え？ 僕がですか？

辻 わたしが思ったよりも、すごく本業されていました。

松田 いや、普通のしがないサラリーマンなんですけど（笑）。

□本業と副業の両立をどうしているか？

辻　では、本業と副業を両立するために、工夫していることとか、気を付けていることとかあれば教えてください。

松田　うーん、これは、今だから言えるという部分もあるんですけど……それこそちょっと前は、夜の寝る時間を削って作業してたりとかは、していたんですね。

辻　なるほど。

松田　ブログの教室に入っている方への返事を書いたりとか、ヘッダーをつくってくださいうい依頼を受けてやったりとか。そういうことを家に帰ってご飯をつくって、子どもを風呂に入れて、子どもを寝かしつけてから……やる、みたいな。

辻　（笑）。主婦ですね。

松田　あっはは（笑）。それが本業かもしれないですけどね。そんな感じでやっていたので、やっぱり体力的に、かなりしんどいというのもあって。実際にちよつと腕が痛いとか、不調も出てきたので、ちよつとやり方を変えないとな、と。今まで何でもかんでも「こんなのできませんか？」と言われたら、「やる」「やってみます」ということで受けていたのを、ちよつと絞り始めたんですね。

です。

辻　なるほど。

松田　なので、今、表だって「サービスタとしてやっています」というのは、「教室でブログづくりのサポートしますよ」というのと、「セミナー」や「講座」をやる場合。あとは、「メニューバーをつくりますよ」ということぐらいで、「ヘッダーをつくりますよ」というのも、目立つような形では出してはいないし、むしろ教室に入っつらつしやる方の中で、ヘッダー作成もお願いしたいんだけど、という方のものを受けているくらい。それをやるようになってから、だいぶ無理なく時間ができるようになってるかなー、というのはいいますね。

辻　ご飯をつくられたりとか、かなり家事的負担もあると思うんですね。

松田　でも、まあ、ご飯つくるだけですけどね（笑）。掃除とか洗濯とか、しないので。

□ 家族の反対はなかった？

辻 副業を始めたことで、今までのスケジュールが、会社から帰ってご飯をつくって、お子さんをお風呂に入れて寝かしつけて、あとは「自分の時間・家族との時間」というところが、「副業にあてる時間」という部分に変わってくるじゃないですか。

松田 はい、そうですね。

辻 それについて、例えば奥様に、副業を始めるときに相談とかされたりしましたか？

松田 いや、具体的に相談というのは……要は最初が「これ」をやると決めてやったわけではないので。ただ、ブログをやっている、ということは知っていたので、それをお金をもらってやっている、そういうのは、だんだんと伝えていったという感じですね。

辻 ほー。

松田 なので、今はこういうふうにブログをやりたいという人に、いろいろ教えているとか、ブログをカスタマイズ、と言っても伝わらないので、つくってあげたりとかでお金をもらっている。ということぐらいは知っていますけど、どれぐらいの規模でやっているか？ ということまでは知らないですね。

辻 なるほど。例えば、家族にあてていた時間を、副業にあてるようになると、家の中で時間の使い方が変わるじゃないですか。特にそういう部分で反対はなかったですか？

松田 それは特にはないですかね。土曜日とか日曜日は基本的にやらないですね。そこまで仕事というものをやってしまうと、子どもと遊ぶ時間とかもなくなるし、本業は土日休みなのに、結局仕事をしていることになってしまいますので。土日は基本的にパソコンを触らないようにしている中で、最大限できる形で副業をやっていますね。

□ 毎日のタイムスケジュールは？

辻 そうすると、やっぱり平日の時間の使い方が、ものすごく上手いんじゃないかと思うんですよ。

松田 どうなんですかね？ 全然スケジュールリングとか、しないですけどね。

辻 そうなんですか？ もしよろしければ、1日のタイムスケジュールと1週間のタイムス

ケジュールを教えてくださいいただけますか。

松田 タイムスケジュール……会社自体は朝の9時から夕方の5時半に終わるので、幸いなことに残業はないんですね。もう、5時半に終わって、5時40分にはセコムがかかるという。

辻 おおお〜!! 素晴らしい会社ですね(笑)。

松田 まあ、それだけヒマだということでも、あるんですけど(笑)。

で、そこから家に帰って、家に着くのがだいたい6時過ぎぐらいかな。それから食事の準備をして、だいたい7時ぐらいに食べ始めて、8時過ぎから子どもを風呂に入れて。9時ぐらいから寝かせる、と。

辻 ほうほう。

松田 まあ、日によって、子どもが昼寝していたら、なかなか寝ないとかね。そういうのはありますけど、だいたい夜の10時ぐらいから12時ぐらいまでが、自分の作業にあてられる時間ですかね。

で、何かをつくるとか、ブログの記事を書くとかは、だいたいその時間にやることが多いで

す。教室の質問の返答とかは、昼間の空いている時間で返信だけしておくようにしているので、なにかに「すぐく、時間を費やしている」という感じでも、特にはないですかね。それが平日、ずっと続いていると。

土日に關しても、そういう作業的なことは基本的にやらないですね。教室の質問とかに關しては、携帯電話でも見れるようにしているので、そのときに返せる簡単な質問であれば、返したりもしますけど、ちよつとパソコンで調べないと分からないことは、休み明けになつてから返事する、というのはやつてますね。

辻 なるほど。ご自身の中で、すぐに返信ができるものに関しては、すぐに携帯から返したりもするけれども、パソコンの前に座らなければならぬようなものに関しては、やらない。

松田 そうですね。

辻 切り分けをしていると。

松田 はい。

辻 基本的に平日も2時間ぐらい。昼休みも使える……。

松田 あとは通勤時間ですね。片道30分ぐらい電車に乗っている。最近、メルマガについての講座もやっただんですが、iPhoneで普通に記事を書いて、明日の記事をセットしたりとか。

あと、今年の4月から5月くらいから、メルマガを毎日1通ずつ書くように変えたというか、決めたんですよ。今までは、なにか募集するときにだけ、ポンと送ったりとか、そういうふうにしかならなかつたんですけど、今は平日月々金まで発行、土日はしないという形にして。で、そのメルマガを、帰りの電車の中で書いて、夜8時に配信の設定をして……というのを、やっていますね。

辻 メルマガも、帰りの電車の中でいきなり「よし書こう!」と思って、そこでネタを考えるわけじゃないじゃないですか。

松田 はいはい(笑)。

辻 「書く」作業自体を、その30分の電車の中でやっているの、その前段階の「何を書くかを考える」。今日は何を書こうとか明日は何を書こう、というようなネタのストックは、いつやられているんですか？

松田 あー、それはね、今度のセミナー(注1)でやるんですよ(笑)。

辻 そうかなー? と、思いました(笑)。

本章をもっと活用するためのヒント

本業があり、主婦的な時間も持ちつつ、土日は基本的にパソコンに向かわない、という松田さんのタイムスケジュールは、効率化コンサルをしていたわたし自身も驚きました。起業を本業としている方は、これを聴くと言い訳できないですよ。

時間が限られている人の方が、時間の使い方が上手いという話を過去に聞いたことがありません。時間がない! と思いきや、じつは取り組む時間はたくさんある。

- ・ただ、取り組みたくないだけ。
- ・何か理由を付けて時間がないことにしている。

【フック2】

「時間がなからずできない！」と思っていることに対し、細分化して見積もりを立ててみましょう。

例えば、「ブログを書く」については……

- ・ブログのネタを探す (5分)
- ・そのネタを元にして「言いたいこと」「伝えたいこと」を考える (10分)
- ※第2章も「参照ください」
- ・あらすじ(起承転結)を考える (15分)
- ・ブログに下書きをする (30分)
- ・無料画像を探す、装飾する (15分)

など。

そして、それらが自分のスキマ時間に当てはまらないか、チェックしてみてくださいね。通勤時間、お風呂時間、食事後のちょっとした休憩時間「ブログを書く」と言っても、必ずしもパソコンに向かっていなくても良いんです。そう思うだけで、意外とたくさん「スキマ時間」がありますよ。

● 注 釈

(注1) (参考) 「書くことない病」が克服できる！ 仕事につながるブログの書き方10の技セミナー

<http://blogsupport.jp/dvd3/>

・メルマガの作り方講座を始められました！

初めての人でも安心して始められるステップメールの作り方10日間メール講座

<http://ameblo.jp/amecafe2011/entry-11687035241.html>

